

郷土撰津 いにしえ通信

第33号

平成十三年一月一日
発行
撰津市教育委員会
生涯学習部生涯学習課

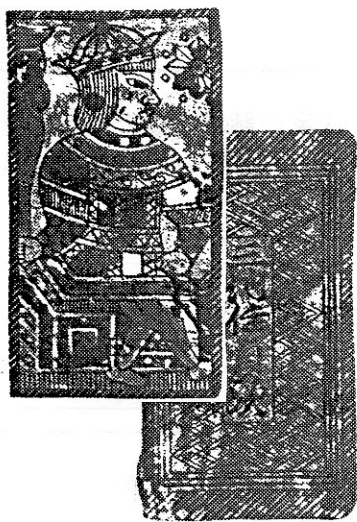
新年あけまして、
おめでとうございます。

今日、文化財行政の扱う時代、
範囲は広がりつつあります。近世
はもちろん近現代の歴史も文化
財の一つとなりつつあります。文
字がなく石器や土器を用いて生
活していた時代も、おじいさん、
おばあさんが生活していたちよ
つと昔の時代も歴史の歩みに変
わりはありません。新しい世紀を
迎えて、これから私達はどのよう
な歴史を歩んでいくのでしょうか。
本通信ではこれからも、大昔か
らちよつと昔まで撰津市の歴史
や文化財情報をお送りいたしま
す。
今後ともご期待ください。

生涯学習課長 芝野 孝一

ちよつと 道具は語る 撰津市の昔の暮らし

天正カルタ。1枚の表裏で桃山時
代の木版刷。
「週刊朝日百科 日本の歴史 40」



南蛮系のカルタ



人気アニメから民話、童謡、俳
句、交通安全、しつけ、郷土史
というはカルタのバリエーシ
ョンは無限です。

第9回 遊び カルタ

カルタは、十六世紀末から十七世
紀初頭にかけて日本にもたらされ
ました南蛮文化の遺産です。もつと
も今ではカルタがポルトガル語か
らきた外来語であることすら忘れ
かけられています。それだけ日本に
馴染みきったものだと言えます。
当初、カルタはトランプに似たカ
ード遊びでした。それを作り変えす
るうちに、ついに花札という傑作に
いたりしました。一年十二月におり
りの花をあてた趣向は、いかにも季
節感に敏感な日本人ならではの発

想でした。しかも大量印刷のため単
純化された意匠と色彩が、また思わ
ぬ効果を生みました。
一方南蛮カルタは日本の和歌と
結びついて歌カルタという風流な
遊びを生みました。その系譜を引く
百人一首はいまだに和歌を暗唱す
る効果をねらい国語の教材にもな
っています。
明治になって、文明開化の波の中
でトランプが渡来した時、それとカ
ルタが同じルーツだと気付く人は
少なかったのです。

三島路ひざくりげ総集編

歴史のふるさと、心のふるさと、そして私たちのふるさと

平成12年度おおさかふみんネット「三島路ひざくりげ総集編」が盛況に終了しました。摂津市は21名の申し込みがあり、全員受講することができました。全体としては、181名の申し込みがあり117名が受講しました。(申し込みの多い市は抽選)

受講者の声

アンケートでいただいた、受講者のご意見、ご感想です。

○三島地方について知識がまったくなかったもので、受講し、三島地方のことが少しわかったような気がします。

○地域の歴史を楽しく学べました。

○各地区の郷土史家の話が有益でした。それは郷土愛にみちあふれているからだと思っています。

○毎週開催していましたが、月2回程度にして欲しい。

○少し専門的な所もありましたが、とてもよかったです。

○交通が少し不便に思いました。できれば、同一の場所が望ましいです。

○講師の諸先生の講義は時間が短く感じるほど興味がわきました。

○近隣市の施設にも行けて良かった。

○年号を言われる場合、西暦年も付記してください。



講座風景

郷土撰津いにしえ通信

鳥養の歴史

戦後のバス路線の増設

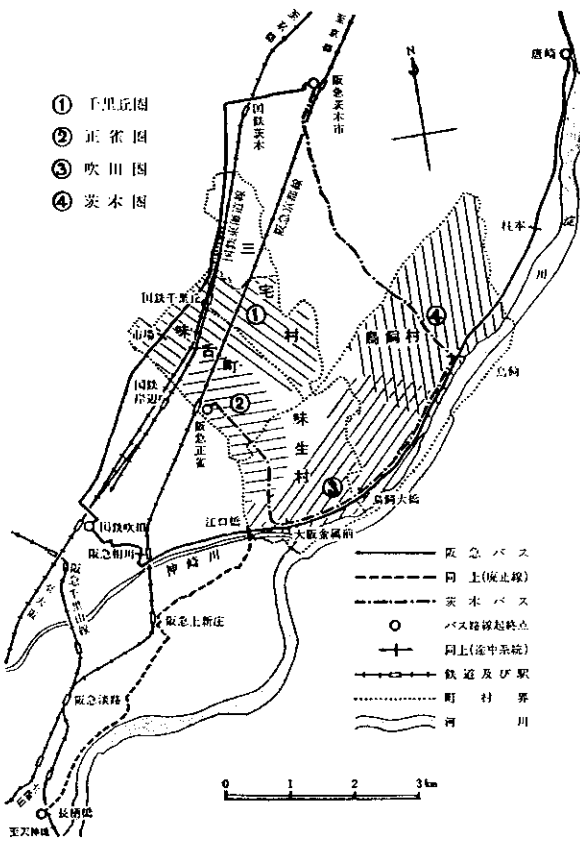
戦後の交通発展を特色づけるものの一つにバス交通の発達があります。戦前、すでに京阪自動車によって開設されていた長柄橋―唐崎線は、戦争末期に運行中止となっていました。昭和二十六年（一九五一年）、阪急バス株式会社に路線が譲渡され、二十七年から運行が再開されました。ただし、このうち江口橋以南は翌年廃止されて、起点が京阪神急行吹田東駅現在の阪急相川駅に変更され、さらに後には、起点が国鉄吹田駅（現在のJR吹田駅）など、吹田の市街地中心部まで延長されました。

昭和二十八年には、茨木バス株式会社の茨木―鳥飼線が、淀川堤防上の府道を通じて西へ延長され、正雀―大金前線とつながり、正雀―鳥飼大橋―鳥飼下―茨木という、本市城南部と茨木市とを結ぶ路線が開設されました。

もつとも、直通便は一日数本だったので、地域間結合という面での実質的意義がどれほどであったかは疑問でした。

道路網の整備

道路網についても、主要なもの大部分は戦前にできあがっていました。しかし、戦後、市制施行までの時期に、南部地区において全く新しい二本の道路が作られ、昭和四十年代から始まる鳥飼・味生の南部二地区の目覚ましい変化の基盤が形成



↑昭和20年代末のバス路線と地域間結合

されました。それが現在の府道大阪―高槻線にあたる道路と、鳥飼大橋でした。

まず、鳥飼大橋は、昭和十八年開通の防空道路と同時に完成するはずでしたが、戦況悪化のために未成のまま終戦を迎え、二十二年にようやく完成しました。これは、枚方大橋から長柄橋までの二十キロメートル近い淀川中流部に初めて架けられた兩岸連絡橋であり、その意味では記念すべきものでした。この橋は木造の小さいもので、しかも左岸側の道路が未整備であったため、まだこの時点では重要性を持ち得ませんでした。

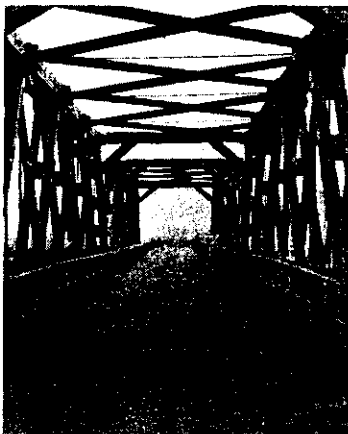
しかし、左岸側の旧防空道路計画路線の整備とともに、鳥飼大橋の

改良が急務となり、二十七年に新橋の工事が開始され、二十九年に完成しました。

新しい鳥飼大橋は三十一年に日本道路公団に引き継がれ、その有料道路橋第一号となりました。そして、すでに完成していた本市内の旧防空道路がこの新しい鳥飼大橋の完成と同時に府道堺―布施―豊中線の一部として認定されました。ここに鳥飼・味生地区の沿道は、淀川兩岸を結ぶ大動脈道路にそつた地区として一躍脚光を浴びることになりました。

「撰津市史より」

担当 (茗荷)



↑木造の鳥飼大橋 (昭和22年)

考古学雑誌

第33回

摂津市と水田の考古学

摂津市域の条里制

吹田操車場跡地周辺の調査(三)

平成十年十月から十二月にかけて吹田操車場跡地の発掘調査が実施されました。大阪府教育委員会がこの地は大正時代以来操車場として機能してきたため文化財調査が全く行われていなかった事、近年隣接する吹田市岸部中地区や、目依地区などで遺跡の発見があいついだ事、同様に摂津市でも明和池遺跡の成果などがあつた事から地区内に試掘トレンチ六十一ヶ所を設定して発掘調査を実施することになりました。

実際の調査は(財)大阪府文化財調査研究センターが行うこととなりました。この調査で遺跡の範囲、遺構存在の有無、遺構面の枚数、遺構の種類などが分かりました。

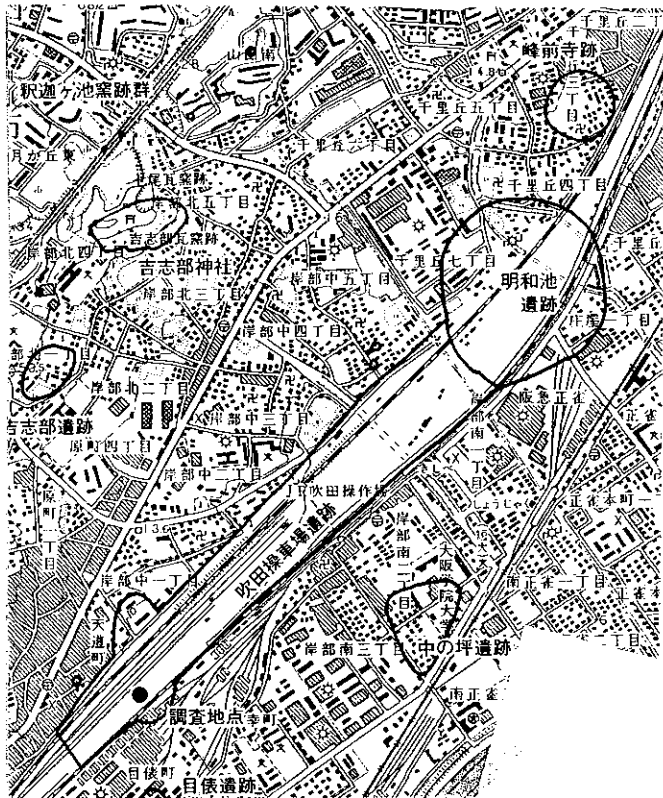
試掘トレンチの大半は吹田市側

でした。主な成果は、古墳時代の土坑群や埋甕、奈良時代の大溝や掘立柱建物跡、平安時代〜鎌倉時代の

井戸や溝などの遺構が多数検出されました。遺物も古墳時代の大足や奈良時代の三彩小壺など珍しい遺物も多数見つかりました。

摂津市側では、地表下約二メートルから近世陶磁器を含む耕作土、野井戸、スキ溝や動物足跡を含む中世の畑跡などの堆積や遺構が見つかりました。遺物も弥生土器、須恵器瓦器、青磁などが見つかりました。

(つづく)



吹田操車場跡地周辺の主な遺跡

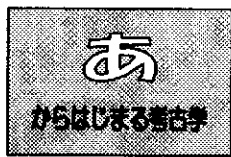
(参)

『吹田操車場遺跡・吹田(信) 基盤整備工事に伴う吹田操車場遺跡発掘調査報告書』一九九九年三月

『吹田操車場遺跡の調査・吹田操車場遺跡現地説明会資料』二〇〇〇年八月 (財)大阪府文化財調査研究センター

〔み〕民俗学(みんぞくがく)

○生活の中に残存している伝承的な文化すなわち民間伝承を研究する学問。○その扱う範囲は生活道具はもちろん宗教関係、生産関係などの物質的な資料をはじめ口伝、風俗、慣習などの非物質的な資料も含みます。○人類学との共通性。○その力を必要とする所が多々あります。共同研究の重要性も指摘されています。○明治時代には土俗学とも言われ、人類学の中の一つとされ、昭和初期、柳田国男らによる研究で、単独の学問として前進しました。



担当 (伊部)